

1. 研究活動

子どもの情報機器の取り組み方の変化II	2009. 5. 22	日本保育学会第30回大会 千葉大学	コンピュータを使った描画と音楽の活動を通じた子どもの取り組み方と援助者の関わり方の年度別変化に、幼稚園児保護者・生涯学習大学講座参加者の意識の分析を併せ、子どもの表現活動のあり方を考察するものである。次年度から四年制大学学生の専門ゼミとして位置づけ附属幼稚園との連携体制を強化していく。そして、芸術大学環境を活かし、子どもの創造性を育む情報機器を使用した表現活動へと発展させたい。
小学校学童期の音楽教育の考察I — 幼児の情報機器を使用した表現活動を通して—	2010. 3. 26 発行	名古屋芸術大学研究紀要 第31巻	保育所・幼稚園との育ち（発達）の連続性を考え、小学校の音楽教育を見据えた幼児期の音楽教育を実践していく必要があり、幼少期と学童期を連動させた音楽教育の継続研究が重要である。今年度は具体的に、保護者・生涯学習講座参加者の意識調査を踏まえ、今までの本学附属幼稚園のコンピュータ活動の中での音楽教育を通して、小学校音楽教育に情報機器をどう取り入れていくべきかを考察するものである。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目 音楽実技2（ピアノ・器楽）		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
保育士・幼稚園教諭・小学校教諭に必要な音楽理論をキーボード感覚と結びつけ資料作りを行い、音楽ソフト FINALE を有効に利用し伴奏法に活用する方法を提案した。	伴奏法を中心に	

3. 学会等および社会における主な活動

全国大学音楽教育学会	2008～現在に至る	理事・中部地区副会長 2010年度全国大会副実行委員長
日本保育学会	1998～現在に至る	会員
日本音楽教育学会	2009～現在に至る	会員
全国保育士養成協議会	2008～現在に至る	中部ブロック幹事
第11回「愛知昔話大学セミナー 実技編講師」 (愛知県岡崎市・青年の家)	2009. 8. 2	三輪弘美教授の「現職の保育士の歌い方・発声法等を高める講習会」のピアノ伴奏。
保育研修会（愛知県三好市文化センターサンアート）	2010. 2. 16	三輪弘美教授の「現職の保育士・幼稚園教諭の歌い方・発声法等を高める講習会」のピアノ伴奏。
清州市保育士研修会 (愛知県清州市)	2010. 3. 12	三輪弘美教授の「現職の保育士の歌い方・発声法等を高める講習会」のピアノ伴奏。